

離島の魅力きらり

海や湖に浮かぶ小さな島。瀬戸内海や琵琶湖には、一度は訪れてみたいと思う離島がある。動植物の豊かな自然や、都会では見ることができない風景、映画のロケ地に使われた懐かしいまち並みなど。島の表情はさまざま。この夏、お気に入りの島を体験してみては。



小豆島(香川)

2人の純愛結ぶ小道

香川県・小豆島の海岸に1日数時間だけ現れる砂の道がある。三つの小島を結ぶ道は「エンジェルロード」と呼ばれ、「2人で歩くと結ばれる」などとカップルたちの人気を集めている。

毎日1、2回の干潮時に、4、5時間ほど現れる。地元住民の潮干狩りスポットでもある。約9年前、海岸そばの小豆島国際ホテルの元社長が名づけた。

テレビの純愛ドラマのロケで使われ、香川県も08年に「光の中にあられたのは天使の小道とふたりの未来でした。」とのキャッチコピーで観光ポスターに採用した。今年1月には、NPO法人地域活性化支援センター

が「恋人の聖地」に認定。地元土庄町などが同町出身の歌手に依頼してテーマソングもできるなど注目を集める。

エンジェルロードで渡った島にはハート形の絵馬が木々に結ばれている。「いつまでも一緒にいられますように」というカップルや、「早く彼氏が出来ませうように」という女性の願いが書かれたものも。手作りの貝殻アートを浜辺で売っている中島勝則さん(61)は「根強い愛を確かめたのか、木の根にもくぐりつけられていますよ」。中島さんによると、満潮前に細く白い砂浜でつながる光景が「一番きれい」。

（清野有希子）

潮が引いて砂の道が現れた「エンジェルロード」＝香川県土庄町